

やがて巡<sup>めぐ</sup>り巡<sup>めぐ</sup>る季節<sup>きせつ</sup>に

ぼく<sup>ぼく</sup>は息<sup>いき</sup>をする

おも<sup>おも</sup>で<sup>で</sup>思い出<sup>とき</sup>になるその時まで

ずっと忘<sup>わす</sup>れないで

ひとり<sup>ひとり</sup>一人<sup>ひざ</sup>ぼっち膝<sup>かか</sup>を抱<sup>かか</sup>えて

み<sup>み</sup>あ<sup>あ</sup>見<sup>ひ</sup>上げたんだあの日

おも<sup>おも</sup>思<sup>は</sup>ってたより晴<sup>そら</sup>れた空と

あなたがそこにいた

み<sup>み</sup>見<sup>すべ</sup>えてるもの全<sup>むね</sup>て胸<sup>や</sup>に焼<sup>つ</sup>き付けたんだ

いつか来<sup>く</sup>るさよならの時<sup>とき</sup>のため

だ<sup>いま</sup>けど今<sup>き</sup>は気<sup>き</sup>づかぬふりをして

ぼく<sup>ぼく</sup>は笑<sup>わら</sup>う あな<sup>いま</sup>たと今

かな<sup>かな</sup>悲<sup>よろこ</sup>しみ 喜<sup>しんぞう</sup>び 心<sup>こどう</sup>臓<sup>こどう</sup>の鼓動

つた<sup>つた</sup>伝<sup>うご</sup>って動<sup>ぼく</sup>かすんだ僕<sup>いのち</sup>という命

おも<sup>おも</sup>想<sup>かんじょう</sup>いや感<sup>か</sup>情<sup>ね</sup> 掛<sup>あひ</sup>け値<sup>あひ</sup>なしの愛<sup>あひ</sup>を

あなたがくれたから

すす<sup>すす</sup>進<sup>み</sup>むよ 見<sup>み</sup>ててくれる?

ま<sup>ま</sup>よ<sup>よ</sup>な<sup>な</sup>か<sup>か</sup>真<sup>あめ</sup>夜<sup>ふ</sup>中の雨<sup>や</sup>が降<sup>ふ</sup>り止<sup>や</sup>めば

ぼく<sup>ぼく</sup>はき<sup>とお</sup>っと遠<sup>とお</sup>く

しんばい<sup>しんばい</sup>心<sup>おな</sup>配<sup>そら</sup>しないで 同<sup>おな</sup>じ空<sup>そら</sup>の

した<sup>した</sup>下<sup>ぼく</sup>に僕<sup>ぼく</sup>はいるよ

み<sup>み</sup>見<sup>すべ</sup>えてるもの全<sup>まも</sup>て守<sup>まも</sup>ろうとするほどに

あなたは<sup>やさ</sup>優しさで<sup>きず</sup>傷つくから  
こた<sup>さが</sup>答えを探たび<sup>うしな</sup>失うんだ  
だいじ<sup>お</sup>大事なもの こぼれ落ちていく

いくせん<sup>とき</sup>幾千の時を超えいつかまた<sup>で</sup>出会う  
つな<sup>て</sup>繋いだ手の感<sup>かんしよく</sup>触を<sup>おも</sup>思い出して  
あの<sup>よる</sup>夜に<sup>ぼく</sup>僕らは<sup>あした</sup>明日を<sup>ねが</sup>願った  
かな<sup>ねが</sup>叶わぬ願いだとわかっていたとしても

とき<sup>くも</sup>時に雲<sup>とき</sup>時に風<sup>かぜ</sup> 形<sup>かたち</sup>を変えながら  
あなたの<sup>もと</sup>元に<sup>ほく</sup>ほら<sup>む</sup>僕は向かうよ

そして<sup>ぼく</sup>僕の<sup>こえ</sup>声があなたに<sup>とど</sup>届くなら  
なんてあなたは<sup>こた</sup>答えるのだろう  
ありがとう ごめんね  
ひどいやつだ バカだな  
あい<sup>な</sup>愛してる<sup>わら</sup>泣いて笑うのは  
たぶん<sup>ぼく</sup>多分僕かも  
き<sup>きこえる</sup>聞こえる？

かな<sup>よろこ</sup>悲しみ<sup>しんそう</sup>喜び<sup>こどう</sup>心臓の鼓動  
つた<sup>うご</sup>伝って動かすんだ<sup>ぼく</sup>僕という<sup>いのち</sup>命  
おも<sup>かんじよう</sup>想いや感<sup>か</sup>情<sup>ね</sup> 掛け値なしの<sup>あい</sup>愛を  
あなたはくれたんだ  
きせき<sup>ひ</sup>奇跡のような<sup>び</sup>日々を  
いつでもここにいるよ

やがてめぐりめぐるきせつに  
巡 巡 季節

ぼくらはいきをする  
僕 息

おもいでになるそのときまで  
思 出 時

ずっとわすれないで  
忘

ひとりぼっちひざをかかえて  
一人 膝 抱

みあげたんだ あのひ  
見上 日

おもってたよりはれたそらと  
思 晴 空

あなたがそこにいた

みえてるものすべて むねにやきつけたんだ  
見 全 胸 焼 付

いつかくるさよならのときのため  
来 時

だけどいまはきづかぬふりをして  
今 気

ぼくはわらう あなたといま  
僕 笑 今

かなしみ よろこび しんぞうのこどう  
悲 喜 心臓 鼓動

つたってうごかすんだ ぼくといういのち  
伝 動 僕 命

おもいやかんじょう かけねなしのあいを  
想 感情 掛 値 愛

あなたがくれたから

すすむよ みててくれる?  
進 見

まよなかのあめがふりやめば  
真夜中 雨 降 止

ぼくはきつととおく  
僕 遠

しんぱいしないで おなじそらの  
心配 同 空

したに**ぼく**はいるよ

下 僕

みえてるもの**すべて** **まも**ろうとするほどに

見 全 守

あなたは**やさ**しさで**きず**つくから

優 傷

**こたえ**を**さが**すたび**うしな**うんだ

答 探 失

**だいじ**なもの **こぼれ****おち**ていく

大事 落

**いくせん**の**とき**を**こえ**いつかまた**であ**う

幾千 時 超 出会

**つないだ**ての**かんしょく**を**おもい**だして

繋 手 感触 思 出

あの**よる**に**ぼく**らは**あした**を**ねが**った

夜 僕 明日 願

**かな**わぬ**ねが**いだとわかっていたとしても

叶 願

**とき**に**くも** **とき**に**かぜ** **かたち**を**かえ**ながら

時 雲 時 風 形 変

あなたの**もと**に **ほら** **ぼく**は**むか**うよ

元 僕 向

そして**ぼく**の**こえ**があなたに**とど**くなら

僕 声 届

なんてあなたは**こた**えるのだろう

答

ありがとう ごめんね

ひどいやつだ バカだな

**あい**してる **ない**て**わら**うのは

愛 泣 笑

**たぶん****ぼく**かも

多分 僕

**きこ**える?

聞

**かな**しみ **よろこ**び **しんぞう**の**こどう**

悲 喜 心臓 鼓動

**つた**って**うご**かすんだ **ぼく**といういのち

伝 動 僕 命

**おも**いや**かんじょう** **かけ**ねなしの**あい**を

想 感情 掛 値 愛

あなたはくれたんだ  
きせき奇跡のようなひび日々を  
いつでもここにいるよ